



## 地域で子ども達の健全育成に取り組みましょう

厚賀町青少年育成委員会



厚賀地区では、毎年恒例となっている「夏休みラジオ体操会」が実施されました。子供会役員さんのお世話で、厚賀中学校前広場を会場に、子ども達は、朝の爽やかな空気を胸一杯に吸い込み、1日の活力を得ていました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施することができませんでした。しかし、今年は、活動の灯火を絶やしてはいけないとの強い思いで、感染症対策を講じて実施しました。

また、厚賀町青少年育成委員会では、小・中学校PTA、厚賀防犯協会、厚賀駐在所部長の協賛で夜の巡視指導も行われました。まさに、地域が一体となり、子ども達を見守る活動は、コミュニティ・スクールの考え方と合致します。



以前はキャンプも実施していたそうです。「当時の子ども達は、帰省すると世代を超えて交流し、仲間意識と郷土愛を育んでいる」という心温まるお話を担当者から伺うことができました。

社会状況の変化に伴い、保護者の皆さんが多忙な日々を送られていることや価値観の多様化などで、子ども達の地域での活動が変化しています。コミュニティ・スクールの取組をとoshi、地域の子供達にできることを考えたいものです。

## 安心・安全を守る



【コラム】ラジオ体操  
1928年に国民保健体操として制定。目的は一貫して「国民の体力向上や健康増進」です。

### パトロールボランティア



子ども達の登下校の安心・安全を見守るパトロールボランティアの活動が色々な地区で続けられています。

青灯を車につけ巡回する活動も行われ、子ども達は安心して学校に通っています。「おはようございます」と元気な子ども達の声が活動の源になっているとも聞いています。継続して取り組む大切さを実感します。

毎月 10 日はあいさつ運動

広がれ！挨拶の輪  
富川中学校区学校運営協議会

## 『警察体操』今年も!! 継続は力なり!

夏休み、門別警察署では、富川地区の子ども達と「警察体操」を実施し、健康増進に努めています。参加した子ども達は、笑顔で元気な挨拶を交わしたり、休み中のできごとを語り合ったりしていました。体操後には、交通安全や防犯の話聞いていました。子ども達の健全に大いに役立つ取組です。平成17年より続く活動です。

(門別警察署)



ラジオ体操に似ているけれどちょっと違う警察体操

## ユニークな活動で高校の個性を発揮

### 富川高等学校

校長 藤島 尚子

生徒数 66名

#### 【学校の教育目標】

○目標に向かって挑戦する強く逞しい心を持った生徒の育成をめざす

校訓 若く 明るく 逞しく



◆昭和24年2月静内農業高等学校富川分校として設立認可。富川中学校を仮校舎として3月に開校式。

昭和27年4月富川高等学校全日制課程入学式を行う。令和3年度までに8,455人の卒業生を輩出。卒業生は町内外の多方面で活躍しています。

現在、アドバンスコースとキャリアビジネスコースを設置し、多様な進路希望の実現に対応している。



※現在、コミュニティ・スクールは導入していません



### 日高高等学校

校長 谷 尊仁

生徒数 26名

#### 【学校の教育目標】

- 自律する人間
- 共創する人間
- 鍛錬する人間



◆昭和23年11月静内農業高等学校日高分校として設立認可。日高小学校に併置し24年2月に開校式。昭和27年11月日高高等学校として独立。



『昼は大自然に学び 夜は高校で学ぶ』

平成2年度より、日高町産業学習を取り入れた体験学習を実施し、3年で卒業可能な町立定時制高校です。道外生徒もあり、「こもれび祭」は地区住民とふれあう大切な活動となっている。



## CS なんとなく分かるけど、でも?

PTA 活動もあるし、地域も皆さんの協力で子ども達の活動を支えていますね。「連携」といわれても何をすれば良いの?

これまで以上に、学校と地域が連携し、「地域の子供達を育てる」そのために「学校運営協議会」を設置して組織的に協力できるようにする。Key wordは「これまで以上」と「組織的」です。個人のつながりではなく、学校が組織として地域と結びつくシステムです。その蝶番の役割が学校運営協議会です。



次号は12月  
学校と地域

コロナ禍で学校運営協議会の開催や具体的な取組が難しい中ですが、できることを取り組みたいものです。